



受講生の

声

## 自分の脳に新しい回路を作ることができます

京都駅ビル開発株式会社  
近藤 洋子さん ● 2019年度受講

受講のきっかけは自社の社長からの提案でした。あまり深く考えず参加しましたが、実際得たものはとても大きいものでした。第一線で活躍されている講師の方々によるお話は、自分の脳に新しい回路を作ることができ、また、一緒に受講した仲間たちとは社内の仲間とは違う、相談しあえる、力付けあうことが出来るような関係になりました。皆各々仕事をしているので時間を作るのは大変でしたが、この半年間はとても大きな収穫があった期間でした。ありがとうございました。



## 人生の財産になりました

株式会社シンエイ  
山村 智子さん ● 2019年度受講

受講のきっかけは、上司の勧めでした。「研修での学びは勿論のこと、そこでの出会いも今後の私の糧になるのでは…」と。結果、多くの方々と出会い、学び、大変有意義な時間となり、先生方からいただいた素敵な言葉を胸に刻み、自分や仲間の目標に向かって小さなディスラプションを積み重ねている最中です。成果報告会のチームメンバーとは短期間で一つのことを創り上げる事ができ、この経験は何物にも代え難い人生の財産になりました。この研修に大変感謝しております。



山村さん：後列向かって左から2人目

KWB 女性活躍支援拠点  
京都ウィメンズベース

主催：輝く女性応援京都会議（事務局：京都府・京都市・京都労働局・京都商工会議所）  
共催：関西女性活躍推進フォーラム

《実践》 女性リーダー、管理職、幹部等対象

# 次世代女性リーダー育成研修 2020

～京都府女性中核人材育成研修～



同志社大学大学院ビジネス研究科の教員と第一線で活躍する実務者による実践型のプログラムを通じて、現代の企業経営に求められる知識やスキルを体系的に学びます。

特長

- ▶ 同志社大学大学院ビジネス研究科との連携による実践的なプログラムです
- ▶ 「ディスラプション（破壊的創造）」の視点から現代のビジネス環境を読み解きます
- ▶ 他業種・他企業の参加者との交流により、女性のキャリアに関する“気づき”を深めます

全6回  
9月28日  
より開講!

第1回 同志社大学大学院ビジネス研究科

9/28(月)

企業経営と女性活躍  
▶ 株式会社大垣書店 代表取締役  
大垣 守弘氏

経営戦略とダイバーシティ  
▶ 同志社大学大学院 ビジネス研究科  
教授 河南 順一氏

第2回 京都経済センター

10/16(金)

VUCA時代の未来思考法  
～組織でもプライベートでも意思決定の質を上げる～  
▶ ウィズ・グロー代表  
山中 智香氏

第3回 京都経済センター

11/20(金)

企業活性化とカルチャー変革  
～原点に立ち返り“未来”を描く～  
▶ 日系航空会社勤務  
若村 茜氏

第4回 同志社大学大学院ビジネス研究科

12/18(金)

チェンジマネジメントのための  
リーダーシップ  
～経営組織と人的資源管理～  
▶ 同志社大学大学院 ビジネス研究科  
教授 井上 福子氏

第5回 京都経済センター

1/13(水)

感性価値創造への挑戦  
▶ パナソニック株式会社 テクニクスブランド事業担当参与  
アプライアンス社 副社長  
小川 理子氏

第6回 京都経済センター

2/8(月)

ディスラプション（破壊的創造）の  
時代におけるリーダー像  
▶ 株式会社東急エージェンシー  
執行役員 マーケティングイノベーションセンター 本部長  
月野木 麻里氏

京都経済センター

成果報告会 2/26(金)

※詳細は中面参照

※講師や会場、プログラム内容は変更になる場合があります。

実施・運営：京都商工会議所  
協力：同志社大学大学院ビジネス研究科

お申込み・お問合せ／京都商工会議所 会員部 研修事業課 (〒600-8565 京都市下京区四条通室町東入)

FAXまたはwebサイトからお申込みください。  
▶ FAX:075-341-9795 TEL:075-341-9762  
e-mail:jinzai@kyo.or.jp

次世代女性リーダー育成研修 2020  
[http://www.kyo.or.jp/kyoto/ac/event\\_113861.html](http://www.kyo.or.jp/kyoto/ac/event_113861.html)



京都府から発行する納入通知書  
(研修第1回(9/28日)にて配布)により受講料を納付してください。

【R2年9月28日～R3年2月26日】『実践』次世代女性リーダー育成研修 2020 申込書

会社名	事業内容	TEL	
所在地	〒	FAX	
受講料	25,000円(京都府へ納付)	受講料納付者(○印)	会社・受講者
申込責任者	所属(役職)名	従業員数	e-mail
受講者氏名(フリガナ)	所属部署名(役職名)	e-mail	年齢
	住所*	TEL*	
	〒		

★受講者の住所とTELは、受講料を受講者が納付する場合に記入してください。  
 ※自然災害、講師の体調不良等やその他の都合により、やむを得ず研修を中止または変更する場合があります。その際は、受講者へ速やかにメール等でご連絡いたします。また中止や変更となった場合でも、交通費や宿泊費等の補償は出来かねますのでご了承ください。  
 ※ご記入いただきました個人情報は、本事業の管理・運営のため、主催者及び事務局の各種連絡・情報提供に利用させていただくほか、講師及び受講者に参加者名簿(会社・団体名、部署及び役職・氏名)として提供する場合がございます。  
 ※主催者・事務局・報道機関等によって撮影された写真が、主催者等の広報物や新聞・テレビ等の媒体及び関連ホームページ等で公開されることがありますのでご了承ください。  
 ※新型コロナウイルスの影響により、Zoom等によるオンライン研修及び成果報告会となった場合でも、受講料の返金は出来かねますのでご了承ください。

日時

2020年 9/28(月)・10/16(金)・11/20(金)・12/18(金)  
2021年 1/13(水)・2/8(月)・2/26(金) ※時間はいずれも13:00～17:00。

会場

同志社大学大学院ビジネス研究科 (同志社大学 寒梅館)  
京都市上京区烏丸通今出川上る西側(京都市営地下鉄烏丸線「今出川」駅下車2番出口より北へ徒歩2分)  
京都経済センター (京都商工会議所)  
京都市下京区四条通室町東入  
(京都市営地下鉄烏丸線「四条」駅、もしくは阪急京都線「烏丸」駅下車26番出口直通)  
※会場へお越しの際は地下鉄など公共交通機関をご利用ください

定員

40名程度(先着順)

受講料

25,000円(京都府へ納付)



# 《実践》 次世代女性リーダー育成研修2020 プログラム *Program*

～京都府女性中核人材育成研修～

目まぐるしく変化する現代の企業経営において、女性が企業の意思決定に関与するとはどのようなことなのか。また意思決定の質を高めるにはどうすればよいのか。本研修では、「ディスラプション(破壊的創造)」をテーマに、多様な分野で活躍中の講師陣のレクチャーやディスカッションを通じてこれらの課題に取り組み、今後のキャリアに活かしてもらうことを目的とします。

第1回 **9/28(月)** 13:00～17:00

絶えず変化するビジネス環境にあって、価値を創造しイノベーションを展開する組織にはパラダイムを転換するビジョンが求められます。そのためには、ジェンダー・国籍・文化・年齢などを越えた多様なバックグラウンド・経験・感性を持つ人材が、それぞれの才能や能力を最大限に発揮することが鍵となります。ディスラプションの時代において、従来の枠組みやプロセスを超えて女性リーダーが養うべき資質は何か。視点と発想の枠組みやアプローチを考察、議論します。

## 企業経営と女性活躍

## 経営戦略とダイバーシティ



▶ 株式会社大垣書店 代表取締役  
**大垣 守弘氏**

【略歴】  
1959年京都市生まれ。1982年立命館大学を卒業後、株式会社大垣書店に入社。本店店長、専務取締役を経て、2000年に代表取締役役に就任し現在に至る。一般社団法人京都経済同友会幹事、公益財団法人片山家能楽・京舞保存財団評議員、公益財団法人文字・活字文化推進機構評議員、立命館大学評議員、一般社団法人京都出版文化協会代表、京都商工会議所常議員などを歴任し、地域経済や伝統文化等の発展にも尽力している。



▶ 同志社大学大学院 ビジネス研究科  
教授 **河南 順一氏**

【略歴】  
同志社大学商学部卒業、アリゾナ州立大学経営学大学院MBA修了。石油会社、Apple Japan、マクドナルド等の外資系企業において、マーケティング及びコミュニケーションの責任者を歴任。特にAppleにおいてはマーケティング部長としてマーケティング及びブランド戦略策定と実行を担当し、クパチーノの本社にてSteve Jobsと直接議論をした。ブランディング、広告、広報等を通じた業績不振からのビジネス転換を得意分野とする。

第2回 **10/16(金)** 13:00～17:00

## VUCA時代の未来思考法 ～組織でもプライベートでも意思決定の質を上げる～

VUCA(変動性・不確実性・複雑性・曖昧性)の時代に突入り、企業・組織の経営、個人のキャリア等いたるところで将来の予測が難しくなってきました。変化のスピードだけでなく、予期せぬ外部環境の変化で仕事や生活が大きく変わることもあります。そのような中でどのように質の高い意思決定をしていくのか。組織でもプライベートでも活用可能な、不確定な未来を生き抜く思考法をお伝えします。



▶ ウィズ・グロー代表  
**山中 智香氏**

【略歴】  
神戸薬科大学卒業後、製薬会社、調剤薬局にて薬剤師として勤務。組織がチームとして機能するために様々な思考スキルの必要性を感じ、人材育成を支援するウィズ・グローを開業。論理思考、心理学を用いた組織開発や、シナリオプランニングによる長期戦略策定、次世代リーダー育成を担う。自身の仕事と子育ての両立の実験を踏まえ、女性のワークライフバランスへの対応、女性キャリア支援、女性活躍研修等にも力を入れている。

第3回 **11/20(金)** 13:00～17:00

## 企業活性化とカルチャー変革 ～原点に立ち返り“未来”を描く～

一すべては、社長に宛てた、1通のメールから始まりました。ある報道を機に、自分の働く会社が非難され、社員の意欲、そして売上も下がりはじめていきました。転職という手段もある中で、私は覚悟を決め、無我夢中で社長へメールを書きました。「大好きな会社を、自分たちの手で変えたい」。このセッションでは、経営難に陥った会社を、組織変革の側面でV字回復に貢献するまでに至ったストーリーを、具体的な施策と共に伝えます。



▶ 日系航空会社勤務  
**若村 茜氏**

【略歴】  
1984年生まれ。2004年株式会社村田製作所入社。海外営業グループで販売推進業務に従事。その後日本マクドナルド株式会社へ転職。食材のバイヤーとしてポテトやパンなどの調達に関わる中で、2014年にインシデントが発生。CEOのサラ・カサノバ氏に提案し、社内スタッフ共通の行動指針を作るプロジェクトを立ち上げ、V字回復へ貢献。現在は日系の航空会社でグローバルマーケティングに従事。上智大学外国語学部卒業、早稲田大学大学院商学研究科卒業(MBA・経営戦略専攻)。

第4回 **12/18(金)** 13:00～17:00

## チェンジマネジメントのための リーダーシップ ～経営組織と人的資源管理～

日本企業には「チェンジマネジメント」が欠けています。GE、ティファニー、ボーダーフォン、SAP、国際機関等で要職を歴任した経験から、本社の経営戦略と組織の狭間で、働く一人ひとりの力を発揮させる組織全体のマネジメントをいかに実施し、またそれがアカデミックな観点からどのように整理できるのか。現実と理論の双方から組織の戦略的マネジメントの要諦を示します。



▶ 同志社大学大学院 ビジネス研究科  
教授 **井上 福子氏**

【略歴】  
神戸大学博士(経営学)、インディアナ大学MBA(アントレプレナーシップ専攻)、ロンドン・スクール・オブ・エコノミクス・アンド・ポリティカル・サイエンスMSc(比較労使関係及び人事管理)。日本企業に勤務の後、留学を経て、複数の大手外資系企業及び国際機関に勤務。外資系企業では、部長職、人事部部長職等、要職を歴任。国際原子力機関(ウィーン本部)の人材計画課長、上級人事担当官を経て現職。

第5回 **1/13(水)** 13:00～17:00

## 感性価値創造への挑戦

1965年に誕生した高級オーディオブランドTechnicsは、圧縮音源の流通など音楽を取り巻く環境の激変により、一時期ビジネスを休眠していました。デジタル技術のハイレゾリューション化が進み、再びいい音を求める社会のニーズが高まりました。このような中、顧客の感性価値創造に挑戦しようという社員の機運も高まり、2014年にブランド復活宣言を行い、高級オーディオ市場に再参入を果たしました。ブランド戦略、チームビルディング、リーダーシップの観点で、感性価値創造を語ります。



▶ パナソニック株式会社 テクニクスブランド事業担当参与  
アプライアンス社 副社長  
**小川 理子氏**

【略歴】  
慶應義塾大学工学部卒業後、松下電器産業(現パナソニック)株式会社に入社。音響研究所にて音響機器の企画、研究開発、商品化などを担当し、2014年テクニクス事業推進室長に就任、高級オーディオブランドのテクニクス復活を総指揮。2015年役員に就任。現在アプライアンス社副社長、技術担当、デザイン担当、新規事業開発担当。大阪万博誘致の最終プレゼンテーションを担当し、注目を集める。2019年マツダ株式会社社外取締役役に就任。ジャズピアニストとしての顔も持ち、関西フィルハーモニー管弦楽団と過去4回の共演を果たした。

第6回 **2/8(月)** 13:00～17:00

## ディスラプション(破壊的創造)の 時代におけるリーダー像

日経平均株価が初めて1万円を超えた年に社会に出て、男女雇用機会均等法施行、インターネットの台頭、バブル期を経て外資に買収され、バブル崩壊...と、激動の時代の広告業界に身を置いて来た私にとって、最も大きなインパクトは「ディスラプション」という概念に出会ったことです。最初は戸惑いましたが、これはまさに未来を拓く女性リーダーにこそ役立つ思考です。柔らかい頭としなやかな心で、大胆な変革の道を歩みましょう。



▶ 株式会社東急エージェンシー  
執行役員 マーケティングイノベーションセンター 本部長  
**月野木 麻里氏**

【略歴】  
中央大学法学部卒業後、日放株式会社入社。社長秘書、媒体担当を経て、メディアプランナーに。その後、TBWA日放、TBWAジャパンにてディスラプションの思考のもと、アップルコンピュータ、ハーゲンダッツ、マスターフーズなど外資系ブランドを担当し、戦略的コミュニケーションプランを立案。2005年10月、株式会社東急エージェンシーに転職、ライオン、明治など、日本企業各社のメディアプランニングに従事。左脳右脳を駆使して考え尽くすプランニング姿勢が信条。2019年10月より執行役員マーケティングイノベーションセンター本部長。

成果報告会 **2/26(金)** 13:00～17:00

本研修の総括として、グループに分かれた受講者が、研修の学びを踏まえたアクションプランを発表します。受講者の一方的な報告ではなく、地元企業の経営者や受講者の所属企業の関係者、一般の参加者からコメントを求めるインタラクティブな報告会とすることで、研修受講者の気づきを深める内容とします。



新型コロナウイルスの感染予防対策について

講師のマスク着用や消毒液の設置、換気、他の受講者との間隔をあけるなどの対策を講じるとともに、受講者の皆様にはマスクの着用をお願いします。感染の状況によっては、Zoom等によるオンラインの研修及び成果報告会になる可能性もありますので、予めご了承ください。